

社団法人 日本病院会 平成23年度 第8回 定期常任理事会 議事抄録

日時 平成23年11月19日(土) 13:00～17:00
会場 社団法人 日本病院会 5階 会議室
出席者 堺 常雄 会長
今泉暢登志、高橋 正彦、末永 裕之、相澤 孝夫、梶原 優 大道 道大 各副会長
藤原 秀臣、宮崎 瑞穂、石井 暎禧、木村 壯介、松本 純夫、万代 恭嗣、
中井 修、渡邊 史朗、武田 隆久、生野 弘道、中島 豊爾、塩谷 泰一、
岡留健一郎 各常任理事
宮川 信、石井 孝行 両監事
野口 正人 代議員会議長
奈良 昌治、山本 修三、池澤 康郎、佐藤 眞杉、大井 利夫、村上 信乃、
宮崎 忠昭 各顧問
坂本 すが、高久 史麿、松田 朗、堀内 龍也、権丈 善一、齊藤 壽一 各参与
前原 和平、吉田 孝宜、有賀 徹、原 義人、大道 久、崎原 宏、各委員長
中村 博彦、松本 隆利、三浦 修、小川 裕道、細木 秀美、高野 正博、
福井 洋 各支部長
永易 卓 (病院経営管理者協議会 会長)
荒木 攻 (広島県・荒木脳神経外科病院 院長)

堺 会長から開会挨拶を述べた後、会議定足数として、定数26名中、出席者19名、委任状6通、計25名(過半数14名)で会議が成立している旨報告後、議事録署名人に、万代 恭嗣、渡邊 史朗 両常任理事を選任した。署名人選出後、長年本会常任理事、参与にご就任願っていた鴨下重彦先生が11月10日にご逝去された旨の報告後、ご冥福を祈り黙祷を行った。黙祷後、新入会員の 荒木脳神経外科病院 荒木院長から施設紹介が実施された。議事進行は、高橋副会長が行った。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

前回の役員会後の会員異動の紹介があり、協議の結果、届出を承認した。

(正会員の入会1施設)

①千葉県・学校法人・東京女子医科大学附属八千代医療センター (会員名:寺井 勝 院長)

(正会員の退会3施設)

①広島県・国立病院機構・東広島医療センター (会員名:相模 浩二 院長)

②東京都・公益法人・博慈会記念総合病院 (会員名:三瓶 広幸 院長)

③埼玉県・医療法人・医療法人社団 秀輝会 目蒲病院 (会員名:石橋 秀雄 理事長)

(賛助会員の退会1施設)

①特別会員・東京都・恵比寿ガーデンプレイスクリニック (院長:安村 隆二 院長)

平成23年10月22日現在

正会員 2,387 会員

特別会員 235 会員

賛助会員 241 会員

(A会員 99 会員、B会員 109 会員、C会員 1 会員、D会員 32 会員)

2. 関係省庁および各団体からの依頼等について

下記依頼事項を検討した結果、依頼を承認した。

(継続：後援、協賛)

- ①慢性期医療展 2012（日本慢性期医療協会）に対する後援
- ②第 33 回フード・ケータリングショー（日本能率協会）の協賛

(継続：委員)

- ①評議員（医療関連サービス振興会）の推薦

推薦候補者：中井 修 常任理事

(新規：後援)

- ①中国・四国地区研究会（日本医業経営コンサルタント協会）の後援

(新規：委員)

- ①ヘルスケア産業プラットフォーム推進委員会（経済産業省）の委員

推薦候補者：堺 常雄

3. 平成 23 年度第 2 四半期会計報告及び監査報告について

第 2 四半期（23 年 7 月 1 日～9 月 30 日）の会計報告及び監査報告が実施され承認された。

4. 災害対策特別委員会のオブザーバーについて

下記 3 名のオブザーバー委嘱を承認した。

岩手県：岩手県立中央病院 佐々木 崇 院長

宮城県：石巻赤十字病院 飯沼 一字 院長

福島県：白河厚生総合病院 前原 和平 院長

5. 人間ドック健診施設機能評価認定施設の指定について

下記健診施設の指定を協議し、指定を承認した。

(更新 4 施設)

- ①千葉県・日本赤十字社 成田赤十字病院
- ②福岡県・社会医療法人財団 池友会 新行橋病院
- ③福島県・太田総合病院附属 太田熱海病院
- ④大阪府・財団法人結核予防会 大阪府支部 相談診療所 大阪総合健診センター

〔報告事項〕

1. 各委員会等の開催報告について

下記諸会議の開催報告が実施された。

(1) 雑誌編集委員会（第 7 回・10 月 27 日）

- ①日病雑誌 10・11 月号（合併号）の企画・編集について：9 月号の東日本大震災と災害医療の特集に掲載出来なかった「東日本大震災に対する災害救護活動：石井正・宮城県災害コーディネーター・石巻圏合同救護チーム統括」と「長崎よりの福島第一原発原子力災害医療支援活動：大津留 晶・長崎大学病院准教授」のほか第 61 回日本病院学会での学会長講演「医療の質の評価の改善」、会長講演「日本病院会 60 周年にあたって」を掲載 等の報告。

- ②日病雑誌 12月号の企画・編集について国際モダンホスピタルショウの公開シンポジウム「他職種の相乗効果による病院医療の質向上～それぞれの職種が災害医療の支援に加わる視点について～」及び講演「昭和大学による医療支援の実際」等を予定した。
- (2) 災害対策特別委員会（第4回・11月2日、第5回・11月14日）
- (第4回)
- ①当委員会へのオブザーバーの推薦について:被災地3県からの推薦（岩手県立中央病院 佐々木 崇 院長、石巻赤十字病院 飯沼 一字 院長、白河厚生総合病院 前原 和平 院長）を了承。②ライオンズクラブからの義援金申し出対応について:義援金の活用(案)を検討。③被災者健康支援連絡協議会の活動報告について。
- (第5回)
- ①オブザーバーからの被災地現状報告について:岩手県及び宮城県の現状報告。②ライオンズクラブからの義援金申し出対応について:義援金の活用(案)を検討。③被災者健康支援連絡協議会の活動報告について。④会員からの被災地支援協力について:支援協力内容の報告、広報を通じての本委員会の活動、被災地からの継続した情報入手の指示があった。
- (3) 医療制度委員会（第15回）/地域医療委員会（第3回）合同委員会（11月2日）
- ①当面の諸問題について:地域医療の再生を妨げる「制度の壁（計画配置、労働基準法等）」について検討。
- (4) 医療の安全確保推進委員会（第14回・11月2日）
- ①会員の医療安全に関わる調査について:実態調査を行う上で、設計等について専門家に相談することとした。②死因究明制度のあるべき姿について:委員会で取りまとめた「診療行為に関わる死亡・事故の原因究明制度の在り方について（中間報告）」を厚労省医政局あて提出した旨の報告、今後は、四病協、日病協を通じて提言としての対応を行うこととした。
- (5) 病院中堅職員育成研修「人事・労務管理」コース（第2回・11/11～/12日・77名受講）
- (6) 精神科医療委員会（第3回・11月18日）
- ①平成24年度診療報酬改定について②第62回日本病院学会のワークショップについて:24年6月21日福岡での開催内容を検討。
- (7) 精神科医療委員会からの報告
- ①平成24年診療報酬改定に向けた精神科に係る要望について:精神科他職種チーム訪問管理料の新設、児童・思春期精神医療の抜本的改革等7項目について厚労省保険局に提出した旨の報告。
- (診療情報管理士通信教育関係)
- (1) 診療情報管理士教育委員会専門課程小委員会（第4回・10月24日）
- ①本年度後期と今後の教育について:医療統計学勉強会のあり方として、講義資料の同一化、開催回数の増、全国展開を実施する方向とした。②診療情報管理士通信教育全国一斉更新会の開催について:12月10日に開催。③作問作業について:後期試験・科目試験（12/7～12/16）の検討。
- (2) コーディング勉強会（23年10月20日～11月14日・14教場272名受講）
- (3) 医療統計学勉強会（23年10月20日～11月14日・3教場90名受講）
- (日本診療情報管理学会関係)
- (1) 国際疾病分類委員会（第2回・11月15日）
- ①各担当分掌について:厚生労働科学研究（大井版）、ICD改正・改訂、ICD-10 疑義解釈

等についての現状報告。

- (2) 2011WHO-FIC ネットワーク会議（10月29日～11月4日・南アフリカ・ケープタウン）
31ヶ国208名が参加し、ICD-11改訂、WHO-FIC協力センター等について協議、日本が協力センターとなり、14ヶ国（任期は、2011年9月～2015年9月）となる。厚労省大臣官房統計情報室から「日本WHO国際分類ファミリー協力センター」の指定通知が紹介。

（福島県病院協会関係）

- (1) 福島県病院協会の定期報告について：①賠償金の支払い、第7回被災者健康支援連絡協議会への「原子力損害賠償に関する要望」を実施、県への要望、医師確保の現状等について報告。

2. 日病協について

下記諸会議の開催報告が実施された。

- (1) 代表者会議（第84回10月27日）
①日本医療安全調査機構の事業についての外部説明②中医協等の報告：邊見中医協委員が10月26日で任期満了となった。③第74回実務者会議の開催報告。
- (2) 実務者会議（第75回11月16日）
①中医協報告について：西澤、万代両委員の任命（10/27）報告、DPC評価分科会（第9回・11月7日）での検討されている医療機関群の具体的な要件等についての意見交換、現状報告。②平成24年診療報酬改定に係る要望報告について。

3. 中医協について

下記諸会議の開催報告が実施された。

- (1) 総会（第202回：10月26日、第203回：11月2日、第204回：11月9日、
第205回：11月11日、第206回：11月16日、第207回：11月18日）
- (2) 薬価専門部会（第71回：10月26日、第72回：11月2日、第73回：11月16日）

4. 四病協について

下記諸会議の開催報告が実施された。

- (1) 厚労省・福祉医療機構・四病協合同勉強会（第22回・10月26日）
①各団体からの報告：福祉医療機構から行政刷新会議・独立行政法人改革に関する分科会WGでの議論の概要②平成24年度予算要求について：新規要望4項目、継続要望4項目について財務省との折衝している現状報告。
- (2) 総合部会（第7回・10月26日）
①四病協・合同賀詞交歓会（仮称）の開催について：24年11月12日（木）にホテルオークラ東京での開催概要報告。②計画停電に伴う損害状況調査報告について：1,342施設への調査を実施し、544施設からの回答（40.5%）の調査結果を報告。③新たな精神保健医療体制の構築に向けた検討の取りまとめ案、特定看護師について、TPPについて等に関する意見交換。④プライバシーマーク審査委員会の委員派遣について：日病・大道副会長の推薦（任期：24年1月1日～24年12月31日）を了承。
- (3) 日本医師会・四病協懇談会（第7回・10月26日）
①受診時定額負担に反対する署名運動について：参加団体への協力要請、12月9日に総決起大会の実施。②受診時定額負担について、不合理な診療報酬の見直し、特定看護師（仮称）について、TPPについて等についての意見交換を実施。

(4) 医療保険・診療報酬委員会（第8回・11月4日）

①中医協報告について②医療従事者の資格免許証等の交付早期化の要望について：早期化の要望（案）を11月30日の総合部会に提出とした。

(5) 医業経営・税制委員会（拡大会）（第6回・11月10日）

①事業税、消費税の見直し動向について：厚労省担当官から、事業税、消費税についての説明。②自民党「予算・税制等に関する政策懇談会」について：11月17日に開催されるヒアリングへの要望にあたっての優先順位を検討。③医療法人のあり方について今後の経過措置型医療法人について意見交換を実施。

(6) 独立行政法人福祉医療機構の統合・株式会社化について

①四病協として、株式会社化、日本政策金融公庫への統合への反対としての要望実施を行うこととした。

5. 関係省庁等及び関係団体の各種検討会の開催報告について

下記諸会議の開催報告が実施された。

(1) 社会保障審議会 医療部会（第22回：10月27日、第23回：11月17日）

(10月27日) ①医療提供体制のあり方について：医療計画の基本方針（大臣告示）の考え方として、居宅等における医療、在宅医療・介護プロジェクト、在宅チームを担う人材育成事業、在宅医療連携拠点事業等の概要説明。

(11月17日) ①医療提供体制のあり方について：病床区分の見直しに関し、部会委員の病床機能等への考え方（特定機能病院のあり方）、及び論点についての概要説明。

(2) ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針の見直しに関する専門委員会（第7回）

ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針に関する専門委員会（第7回）

個人遺伝情報保護小委員会（第18回）10月31日（福井常任理事・報告資料5-3）
報告者不在のため、資料一読とした。

(3) 医療計画の見直し等に関する検討会（第7回・10月31日、第8回・11月16日）

(10月31日)

①各都道府県が平成25年度から実施する新たな地域医療計画策定に際し、2次医療圏より狭めた医療圏設定として、在宅から終末期医療を組み入れて設定すべきであるとの論点が示された。

(11月16日)

①疾病又は事業ごとの医療提供体制構築に係る指針について：指針として取り上げた医療計画制度（課題の抽出、数値目標の設定、施策・事業の考え方）の概要説明。

(4) 医療情報の提供のあり方等に関する検討会（第8回・11月4日）

①前回議論の論点整理を基に医療に関する広告規制を取り上げ検討。

(5) 保健医療情報標準化会議（第17回・11月14日）

①社会保障・税の一体改革の一環として、「社会保障・税に関わる番号制度」が検討され、「社会保障・税番号大綱」が決定され、番号制度導入に向けた省内検討体制が整備された。

(6) 経済産業省ヘルスケア産業プラットフォーム（11月15日）

①人々の生活基盤である健康を維持・向上としてヘルスケア産業の役割として、健康の増進、維持等のサービス事業について検討された。

(6) チーム医療推進会議（第9回・11月18日）

①看護師特定能力認証制度骨子（案）が紹介（特定行為、特定行為の実施、厚生労働大臣の認証）。

(7) 日本医師会・医事法関係検討委員会（第8回・11月16日）

①医療基本法の草案（案）（第1章:総則、第2章:良好な医療提供体制を確保するための施策、第3章:医療提供者の責務と権利、第4章:患者等の責務と権利、附則:法令の整備）が紹介。

(8) 被災者健康支援連絡協議会（第10回・11月7日）

①研修医のマッチングの現状報告②日病からの情報提供:福島県病院協会からの原子力損害賠償に関する要望提出、災害時のID提案、福祉医療機構の役割を要望。

6. 国際活動（IHF）について

IHF 理事会が11月8日～10日にドバイ・アラブ首長国連邦で開催された。①IHF事務局がフランスからスイス・ジュネーブへの移転、監査・財務委員会の報告。IHFセッション「デジタル時代における医療情報記録～ICD-11を活用した病院での有意義な情報管理～」では日本における現状を発表した。

7. 平成23年秋の叙勲・褒章の受章について

本会から推薦した土井章宏常任理事、会員の受章についての報告。

8. 薬剤師の病棟配置に係る入院基本料等加算要望について

11月10日に厚労省・保険局あて要望提出した旨の報告。

9. 各政党への要望について

下記政党への要望実施を行った旨の報告があった。

①公明党（11月15日:平成24年度予算及び税制改正等の要望）

②自民党（11月17日:平成24年度税制改正要望）

10. 支部長連絡協議会の発足について

11月18日（金）に発足に向けての準備会を開催した。世話役には、日病支部第1号である和歌山県支部の成川支部長に就任願い、初回の会議を24年1月11日（水）に開催する旨の報告があった。

〔協議事項〕

1. 平成24年診療報酬改定について

DPC 評価分科会で検討されている医療機能係数、調整係数の見直しに伴い、医療機関群からなる基礎係数設定の考え方に診療密度（医師密度）を用いた分類、DPCの現状についての報告後、出席者での意見交換を実施した。問題点として、調整係数のあり方、高度医療の定義、今後のDPCのあり方等が挙げられ、会としては、将来を見据えたDPC制度の構築が必要と考え今後の対応を図る方向を確認し、この案件を議了した。

以上